

（英語科）学習指導（活動）案

【実践者】

【関連する SDG s】（ 1・5・8・11・14・15 ）

氏名 合田 知絵美

学校名 北海道湧別高等学校

学年（人数） 全日制普通科 3 年 A 組 32 名

実施教科（領域） コミュニケーション英語 II



【実施概要】

1. 単元名（活動名）：

地域の資源を生かした地域の人々による地域振興の取組について

2. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：

- ・キルギスと日本の共通点や相違点から、それぞれの文化の面白さに興味を持つ。
- ・キルギスの OVOP プロジェクトについて、与えられた写真と英語の文章を用いながら、ペアで 4 コマのフォトストーリーを作成し、①始まった経緯、②内容、③成果を共感的に理解する。
- ・湧別町における OVOP プロジェクトについてグループで考え、ALT 及び OVOP+1 代表ナルギザさんに向けて英語で紹介するチラシを制作し、発表する。

3. 単元計画（全 3 時間）

時	ねらい	学習活動	資料など
1	・キルギスと日本の共通点や相違点から、それぞれの文化の面白さに興味を持つ。	・ピクチャーマッチング、True/False、QA 活動	・写真 ・パワーポイント ・ワークシート
2 本時	・キルギスの OVOP プロジェクトについて、与えられた写真と英語の文章を用いながらペアで 4 コマのフォトストーリーを作成し、①始まった経緯、②内容、③成果を共感的に理解する。	・キルギスの都市部と農村部の違いについて理解する。 ・ソ連崩壊後の農村部における変化について理解する。 キルギスにおける OVOP プロジェクトについて、①始まった経緯、②内容、③成果について、与えられた写真と英語の文章を用いながらペアで 4 コマのフォトストーリーを作成する。	・写真 ・パワーポイント ・ワークシート
3	・湧別町における OVOP プロジェクトについてグループで考え、英語で紹介するチラシを制作し、発表する。	・湧別町の資源を生かした製品を考え、英語で紹介チラシを制作し、発表する。	・パワーポイント ・ワークシート

4. 本時の展開 (2/3 英語科) 本時のねらい：キルギスの OVOP プロジェクトについて、与えられた写真と英語の文章を用いながらペアで4コマのフォトストーリーを作成し、①始まった経緯、②内容、③成果を共感的に理解する。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5 分)	1 キルギス国内における地域格差及びソ連崩壊後の状況について理解する。 ○前回の授業の復習として、都市部と農村部及びソ連崩壊後の農村部における変化について、まとめた画像を見る。 →都市部と農村部の現状及びソ連崩壊後に農村部の多くの若者が国外に仕事を求めてキルギスを離れたことが、地域経済の衰退や地域コミュニティの崩壊を引き起こしたことに気づく。	・展開の活動に時間を要することを踏まえ、極力短時間で確認する。 ・都市部と農村部の地域格差には歴史的な背景があることを再確認する。	・ビシュケクやクズルトゥー村やコチコルで撮られた写真 ・Google スライド ・ワークシート
展開① (40 分)	2 農村部における貧困問題解決のために JICA が行った取組について、与えられた写真と英語の文章を用いながら物語を作成する活動を通じて共感的に理解する。 ○キルギスにおける OVOP プロジェクトについて、①始まった経緯、②内容、③成果について、与えられた写真と英語の文章を用いながらペアで4コマのフォトストーリーを作成する。 ○物語の主人公は①OVOP を持ち込まれた側 (生産者の方々) ②OVOP を持ち込んだ側 (JICA) いずれかにする。 ○写真について、物語の主人公が OVOP の生産者または JICA いずれの場合も1コマ目は決められた共通の写真、2・3コマ目は自分達が選んだ写真、4コマ目は決められたそれぞれ異なる写真を使用する。 ○英語の文章について、1コマ目は最初から与えられているので、2・3コマ目は与えられた文章から写真に合うものを選び、4コマ目は自分達で文章を考えて作る。	・ペア活動にすることで、主体的・対話的な活動にする。 ・ペアで対話し、目に見えるものだけでなく、それらから予想できることまで考えを広げて取り組むよう助言する。 ・既習の表現や Useful Expressions を活用するよう促し、論理的なストーリーを作らせる。 ・中学生でもわかるような簡単なレベルの英文にする。 (翻訳アプリの使用禁止)	・写真 ・Google スライド (テンプレート)

まとめ (5分)	<Useful Expressions> In rural areas, S+V 「農村部では、SはV」 There was/were… 「…がいた/あった」 S+V+because+S+V 「SはVなので、SはV」 S+V+…+to do 「Sは～するためにV」 To do, S+V 「～するために、SはV」 However, S+V 「しかしながら、SはV」 So, S+V 「そこで/だから、SはV」 As a result, S+V 「その結果、SはV」 Though+S+V, S+V 「SはVだが、…」 If+S+V, S+V 「もしSがVなら、SはV」 ○Google クラスルームにデータを提出する。 ○1 or 2 グループに内容を発表させる。 ○現地の OVOP ショップで購入した製品を手に取り、気づいたこと、感じたことをグループメンバーと共有する。 →フォトストーリーで見た写真と現物を比較し、OVOP 製品の特徴や魅力に気づく。		・Google クラスルーム ・OVOP ショップで購入した製品
5. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・キルギスの都市部と農村部の違いについて理解できたか。＜理解の能力＞ ・ソ連崩壊後の農村部における変化について理解できたか。＜理解の能力＞ ・与えられた写真と英語の文章を用いながら、ペアで4コマのフォトストーリーを作成できたか。 ＜表現の能力＞＜関心・意欲・態度＞			

【参考資料】

資料および外部との連携

○JICA ホームページ

https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1808/201808_04.html

○MUJI ホームページ

<https://www.muji.net/lab/found/kyrgyz/06.html>

○OVOP+1

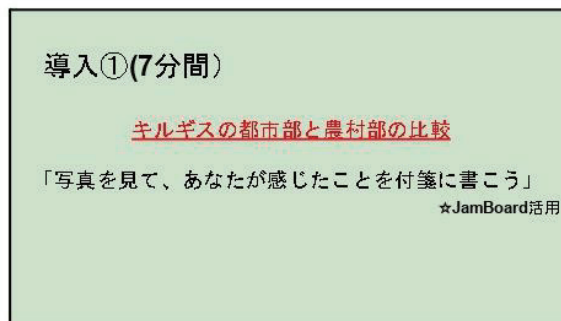
CEO ナルギザ・エルキンバエバさん

【自己評価】

苦勞した点	・授業を通して育てたい生徒像は明確だったが、それを「英語の授業」でどのように扱うかを考えるのに大変苦慮した。橋詰アドバイザーからのご助言を受けて、最終的に英語で物語作成活動を行うことに決めた。 ・活動に使う写真選びに時間がかかった。自分や他の先生方が撮影した写真を何十回と見て、8枚に厳選した。
改善点	・模擬授業では、客観的な写真描写に終始したグループがほとんどであった。 →他の授業では、物語の主人公をこちらで提示（OVOPを持ち込まれた側と持ち込んだ側の2者）することにより、主語が「I」や「We」等、主観的な視点で物語を作成するようになった。 ・模擬授業では、写真に不要な情報が載っていたために、こちらが意図しない内容の物語を作成したグループがあった。 →他の授業では、小島先生から教えていただいたアプリを使い、不要な情報を消した写真を提示。 ・模擬授業では、各グループで4枚写真を選び、一から物語を作成させたが、予想していた以上に時間がかかり、50分間の授業では消化不良となった。 →模擬授業検討会及び依田先生の助言を受けて、他の授業では、1枚目と4枚目の写真を固定し、2・3枚目の写真は自由に選ばせた。また、1～3枚目の写真について、英語はこちらで用意したものから合うものを選ばせ、4枚目の写真についてのみ、英語で物語を作らせることで時間短縮を図った。 ・模擬授業では4人でのグループワークとしたが、やや懸念していたとおり、受け身の生徒が出た。 →他の授業ではペアワークとし、生徒一人一人が自分ごととして、活動できた。
成果が出た点	・教師の説明によらず、写真を活用して生徒に共感的理解を育む手法はこれまであまり実践したことがなく、生徒・教師ともに貴重な機会となった。印象的だったのは、英語を苦手とする生徒も意欲的に活動に取り組んでいる様子が見られたこと。今回のキルギスに関する授業のみならず、教科書の内容を扱う授業においても、このような生徒参加型の手法を積極的に導入しようという意欲が高まった。また、教科横断的な視点から、同僚の先生方にも広めていきたいと考えている。

学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	・フォトストーリーを作成した後、現地のお店で購入した OVOP 製品に触れさせた際の生徒達の反応が顕著であった。触り心地や縫い目がないこと、玉ねぎ等の天然のもので染めていること等、写真からは読み取れないことに気づき、感動や驚きを覚えた様子であった。また、OVOP の PR 動画で生産者の女性達が生き生きと踊る姿を見て、良い意味で強いギャップを感じていた。やはり実物に触れたり、人に意識を向けたりすることで、フォトストーリーで登場した生産者の女性達の商品作りにかかる情熱や苦労に思いを巡らせ、親しみを感じることができたようだ。
授業者による自由記述	・英語でのフォトストーリー作成は想像していた以上に難易度が高く、指導案の変更を重ねた後、最終的にはストーリーの結末 (=OVOP の成果) 部分のみの作成となった。多くの生徒が最低一文、多くても三文程の文量であったが、既習の語彙や文法項目を総動員し、正解を知らない事柄について、ペアで対話しながら想像してストーリーを作成するという活動は生徒にとって学びが深い授業になったと感じている。授業時数の関係でフォトストーリー作成が今年度最後の授業になってしまい、予定していた内容を消化できなかった。来年度は年度当初に授業時数を調整し、予定していた内容を全て実践する。
次年度以降の取組予定	・来年度は今年度の取組を踏まえて、フォトストーリー作成後に OVOP について理解を深める時間を設けた上で、最終的に湧別町における OVOP プロジェクトについてペアで考え、英語で紹介するチラシを制作し、校外に発信させる。 ・本研修で学んだ様々な生徒参加型の手法を普段の授業の中でも効果的に活用する。

(授業進行の Powerpoint 資料)



[illegible]

「農村部はどうなっただろう。
自分が思うことを付箋に書こう」 ☆JamBoard活用

[illegible]

独立行政法人 国際協力機構
開発途上国が直面する多岐にわたる課題を解決するためにさまざまなメニューを効果的に活用し、世界の150以上の国と地域で年間1兆円を超える規模の事業を展開している。

展開

キルギスのOVOPプロジェクトとはどのようなものだろう？

- ①与えられた8枚の写真を基にして、OVOPが始まった経緯、内容、成果についてペアで考えて、英語で4コマのフォトストーリーを作る。
- ②物語の主人公はOVOPの生産者またはJICAとする。
- ③写真について、物語の主人公がOVOPの生産者またはJICAいずれの場合も1コマ目は決められた共通の写真、2・3コマ目は自分達が選んだ写真、4コマ目は決められたそれぞれ異なる写真を使用する。
- ④英語の文章について、1枚目は最初から与えられているので、2・3コマ目は与えられた文章から写真に合うものを選び、4コマ目は自分達で文章を考えて作る。
- ⑤中学生でもわかる簡単な英語を使う。翻訳アプリは使用禁止。
- ⑥既習の表現やUseful expressionsを効果的に活用する。

Useful expressions

- In rural areas, S+V 「農村部では、SはV」
- S+V+ because+ S+V 「SはVなので、SはV」
- S+V+...+to do 「Sは～するためにV」
- To do, S+V 「～するために、SはV」
- However, S+V 「しかしながら、SはV」
- So, S+V 「そこでだから、SはV」
- As a result, S+V 「その結果、SはV」
- Though S+V, S+V 「SはVだが、...」
- If+ S+V, S+V 「もしSがVなら、SはV」

English sentences

The jobs were to make wool products. It was not easy, but we taught how to make them carefully to the women. Then, they did their best to good products.

We wanted to help them and they talked about what we could many times. Finally, we decided to give new jobs to women in rural areas.

Look! These are the products the women made. They are so cute, aren't they? We hope their products will be more famous in the near future.

However, JICA gave us new jobs. They were to make wool products. It was not easy for us, but little by little we were able to make good products.

To sell more products, we have collaborated with a Japanese company. They sell many kinds of wool products in MUJI's shops.

At first, I was not able to make good products, but my coworkers always helped me. Thanks to them, now, I really enjoy my job!





OVOPの生産者の女性（達）が主人公

No.1



After many young people go to Russia to make money, our village became poor. So, people didn't get enough food and clothes.

No.2

Picture

English sentences

No.3

Picture

English sentences

No.4



English sentences

JICAが主人公

No.1



After many young people went to Russia to make money, rural areas in Kyrgyz became poor. So, people didn't get enough food and clothes.

No.2

Picture

English sentences

No.3

Picture

English sentences



No.4

自校生徒が作成したもの

Thanks to JICA and OVOP, we were able to live together as a family.

No.4

自校生徒が作成したもの

JICA gave me new jobs. We can make money. So, we can spend a good life.

No.4

自校生徒が作成したもの

Thanks to the wool products, they live a rich life now. Then, I'm glad to see their happy faces. Therefore, I hope OVOP will make them a happy life.

No.4

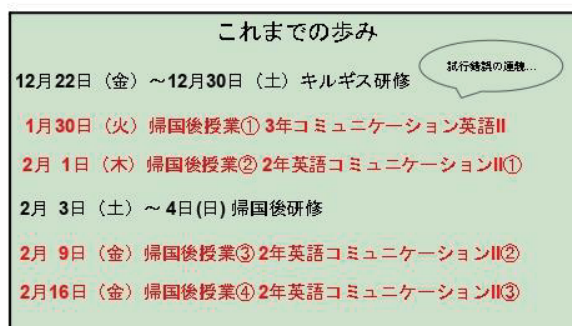
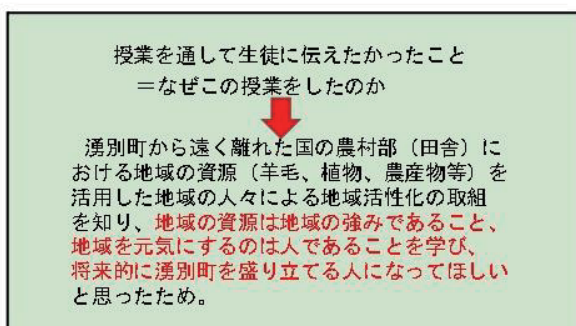
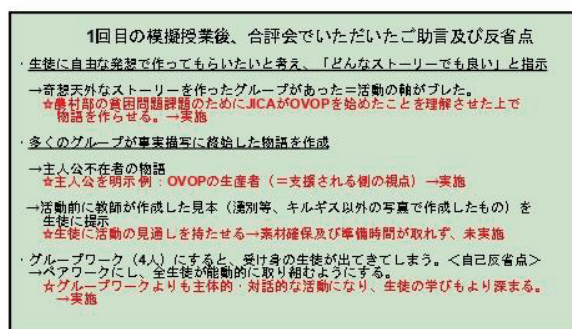
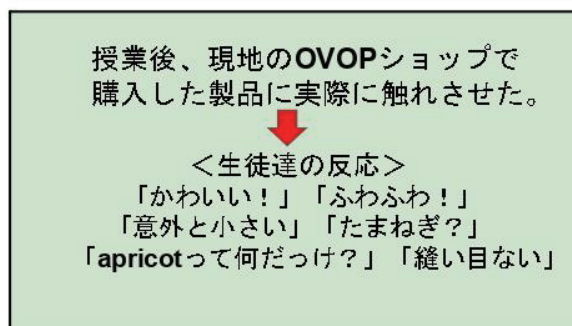
自校生徒が作成したもの

Now, the products sell at the shop like this. The quality is so high. Can you imagine it was made by human?

No.4

自校生徒が作成したもの

Kyrgyz became famous.



わたしの一枚

タイトル： 白い黒板



写真を撮った場所： コチコルの学校

協力隊員の原さやかさんの公開授業の際に撮られた写真である。黒板に注目してほしい。もはや黒板ではなく白板になってしまっている。このような状態の黒板はこれまで一度も見たことがなく、大変衝撃を受けた。こちらの学校を訪問する前日の食事会にて、原さんから設備の古さについて伺っていたものの、ここまでとは想像できなかった。対応策としてプロジェクターが使われており、授業を行う上では支障はないのかもしれないが…一体どのくらい長いこと、この黒板は使われてきたのだろうか。その年月の長さには思いを馳せるとともに、自分を取り巻く環境が決して当たり前ではないことに気づかされた。

氏名： 合田 知絵美

学校名： 北海道湧別高等学校